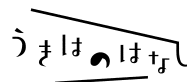




創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」特別編 大学生による市内事業所インタビュー 株式会社ミズキ



株式会社ミズキ
代表取締役
水城 浩次郎さん



うきは市では、創業・移住支援ポータルサイト「うきはのはなし」の中で市内創業者・事業所の紹介をしています。

昨年度に引き続き、広報うきはでも久留米大学生による取材記事を掲載します。うきは市の様々な産業の魅力をお届けします。

■ トップインタビュー ■

Q. 株式会社ミズキの創業の歴史と現在の事業内容を教えてください

1942年（昭和17年）浮羽郡浮羽町において、棕呂（しゅろ：ヤシ科の木）製品の製造を行う企業として、「水城高次商店」を創立しました。その後、棕呂製品に加え、清掃用品や家庭日用品などの製造・販売に着手し、規模を拡大していきました。そして、1991年、中国より輸入を開始し、現在では、ベトナムなどの東南アジアや欧米など世界各国から日用品・産業資材のオリジナル製品を輸入し、主にホームセンター等に卸販売しています。

Q. 御社が誇れる強み・こだわりを教えてください

お客様が今、何を求めているのか、必要としているものは何かを常に考え、「これだ！」と思うものは、即製品化できることが強みです。私たちは、主に四季に合わせたオリジナル製品の企画・開発をしており、秋であれば稲作資材、夏であれば日除け用品などを卸しています。また、近年の災害時には、被災地へ多くの災害用品を届けることができました。日本だけでなく、近隣国にも輸入網を張っているため、必要な製品をスピーディーに供給できる物流も強みですね。

Q. 会社として挑戦したい・伸ばしていきたいところはどこですか

「デジタル化」に力を入れたビジネス、例えば卸売だけでなく、ネット

販売にも取り組んでいきたいですし、製造にもデジタル化を取り入れていきたいですね。将来的には日本だけではなく海外での販売、輸出も検討しています。

今後は若い人材を積極的に採用し、将来の幹部候補を育てていきたいとも思っています。

Q. 中小企業の強みとはどんなところだと思いますか

スピード感のある経営ができるということですね。スピード感があることで、お客様の要望に迅速に応えることができていると思います。あとは、私と社員との距離が近く、いろいろな会話や提案ができるので迅速な意思決定・実行ができるところですかね。

Q. 学生に伝えたいことはありますか

今しかできないことをやってほしいですね。大学生の時にできることが将来もできるとは限らないので、たくさん挑戦してほしいですね。あとは、社会の「楽」には安易に飛びつくな、ということですね。「楽」に見えることや仕事にはそれなりの理由があるので、自分にそのような道が合っているかしっかり吟味して、社会に羽ばたいて欲しいですね。

Q. うきは市の方々に伝えたいことはありますか

当社は卸売業ですから直接的な交流があまりあるわけではないのですが、私たちの仕事を通して、元気に頑張っている企業が地元にもあるということのをうきは市の皆さんに知っていただけたら嬉しいです。

★取材を終えて★

お話を伺う中で、ミズキ様がお客様のことを常に考え、日々どのようなものが求められているのかを考える姿勢がとても素晴らしいなと思いました。お客様に寄り添い、迅速に要望に応えられることこそ、中小企業の凄さだなと思いました。（白石）

取材させていただいたミズキ様が日頃、私たちの生活を大変豊かにしてくださっていることがわかりました。春夏秋冬、それぞれにあった製品の製造や被災地への災害用品の支給など、迅速かつ心ある対応に中小企業の強みがあると感じました。（田中）

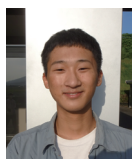
ミズキさんにお邪魔させて頂き、中小企業だからこそできる、お客様の必要としているものを常に考えたスピード感のある経営についての話など、様々なことを聞かせて頂きました。これを機に、学生のうちに様々なことに挑戦していきたいと思えます。（阪田）



久留米大学3年
白石 泰聖



久留米大学3年
田中 陸登



久留米大学3年
阪田 湧斗

会社名 株式会社ミズキ
所在地 うきは市浮羽町三春 985-2
電話 0943-77-2355
FAX 0943-77-6976
HP <http://www.mizuki1942.co.jp>

この記事に関する問い合わせ先
うきはブランド推進課商工振興係
TEL:0943-76-9095
取材協力：筑後信用金庫

創業・移住支援ポータルサイト

うきはのはなし

検索